

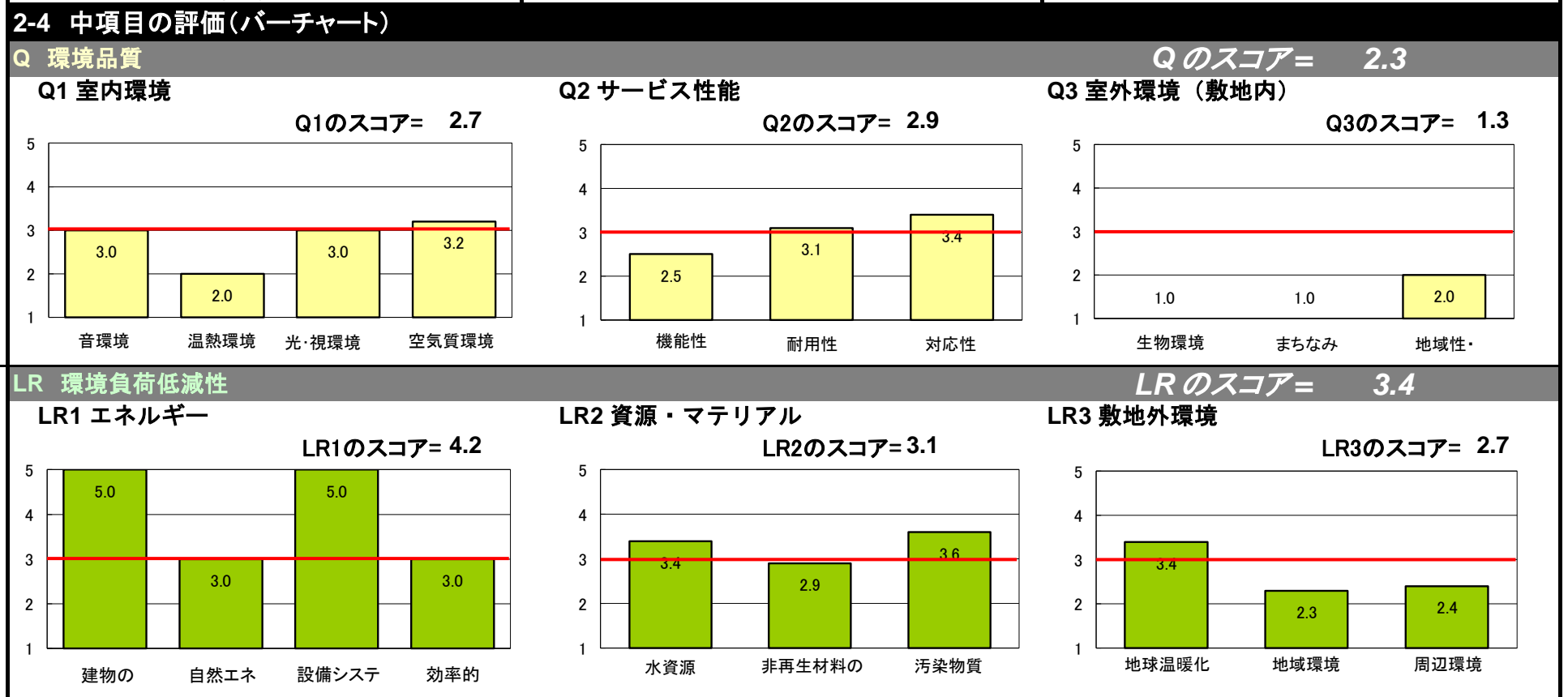
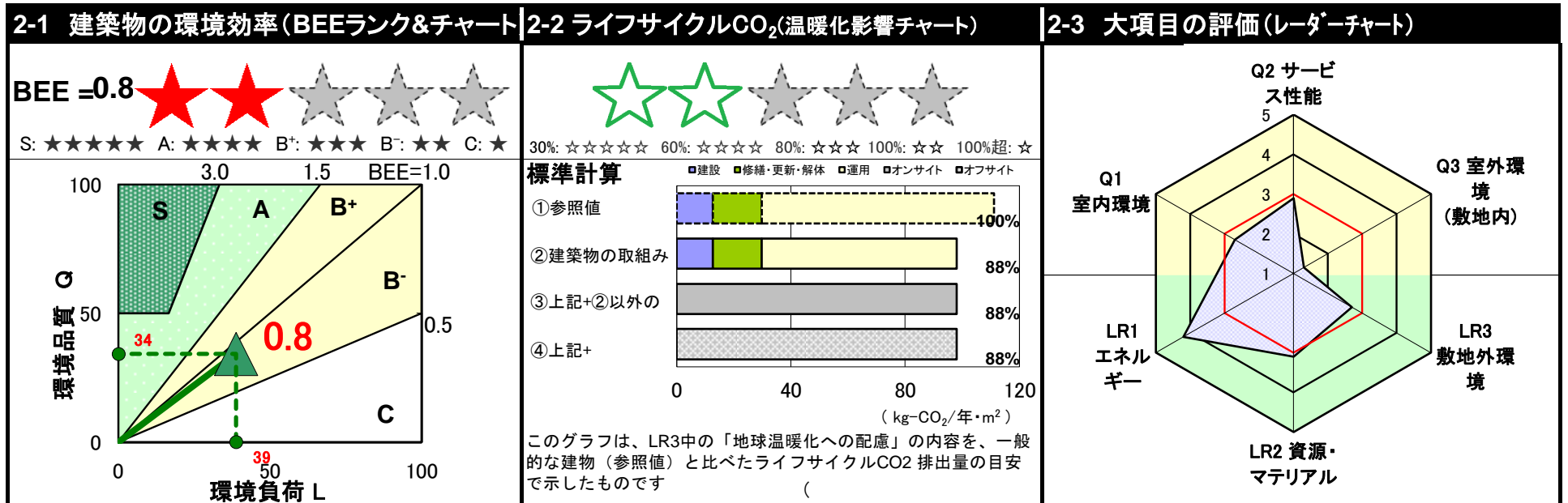
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの経過措置で使用できます。

CASBEE® 広島 (2010年ver. 1.8)

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE広島 2013年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) ■ベース評価ソフト：CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島大学(東千田)知の人材育成センター	階数	地上4F
建設地	広島県広島市中区東千田町一丁目	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域・近隣商業地域、準	平均居住人員	1,670 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,400 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年11月 予定	評価の実施日	2014年9月10日
敷地面積	18,468 m ²	作成者	田中 佑昌
建築面積	1,353 m ²	確認日	2014年9月10日
延床面積	5,152 m ²	確認者	田中 佑昌



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.2

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.7	スコア = 1.5	スコア = 3.0
設計の計画上特段に配慮した事項 省エネルギー計画書の結果による。// 省エネルギー計画書の結果による。// 衛生器具に節水コマ、節水型大便器、小便器を採用。/ 省エネルギー計画書の結果による。	設計の計画上特段に配慮した事項 /	設計の計画上特段に配慮した事項 空調用排水管：硬質ポリ塩化ビニル管(VP)、冷媒管：断熱材被覆銅管、給水管：ポリ粉体鋼管(SGP-PB、SGP-PD)、耐衝撃性塩ビ管(HIVP)、排水管：硬質ポリ塩化ビニル管(VP)、耐熱性硬質塩化ビニル管(HIVP)、給湯管：ステンレス鋼管、消火管：配管用炭素鋼鋼管(白)、消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(SGP-VS)を採用。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される